

# 福島第一原子力発電所の事故収束に向けた取り組み

福島第一原子力発電所における事故、および放射性物質の漏えいにより、地域の皆さまに大変なご心配とご迷惑をおかけしておりますことを心より深くお詫び申し上げます。

このたび、福島第一原子力発電所における事故の収束に向けた当面の取り組みについて取りまとめました。

## 基本的考え方

原子炉と使用済燃料プールの安定的冷却状態を確立し、放射性物質の放出を抑制することで、避難されている方々のご帰宅の実現および国民の皆さまが安心して生活いただけるよう全力で取り組みます。

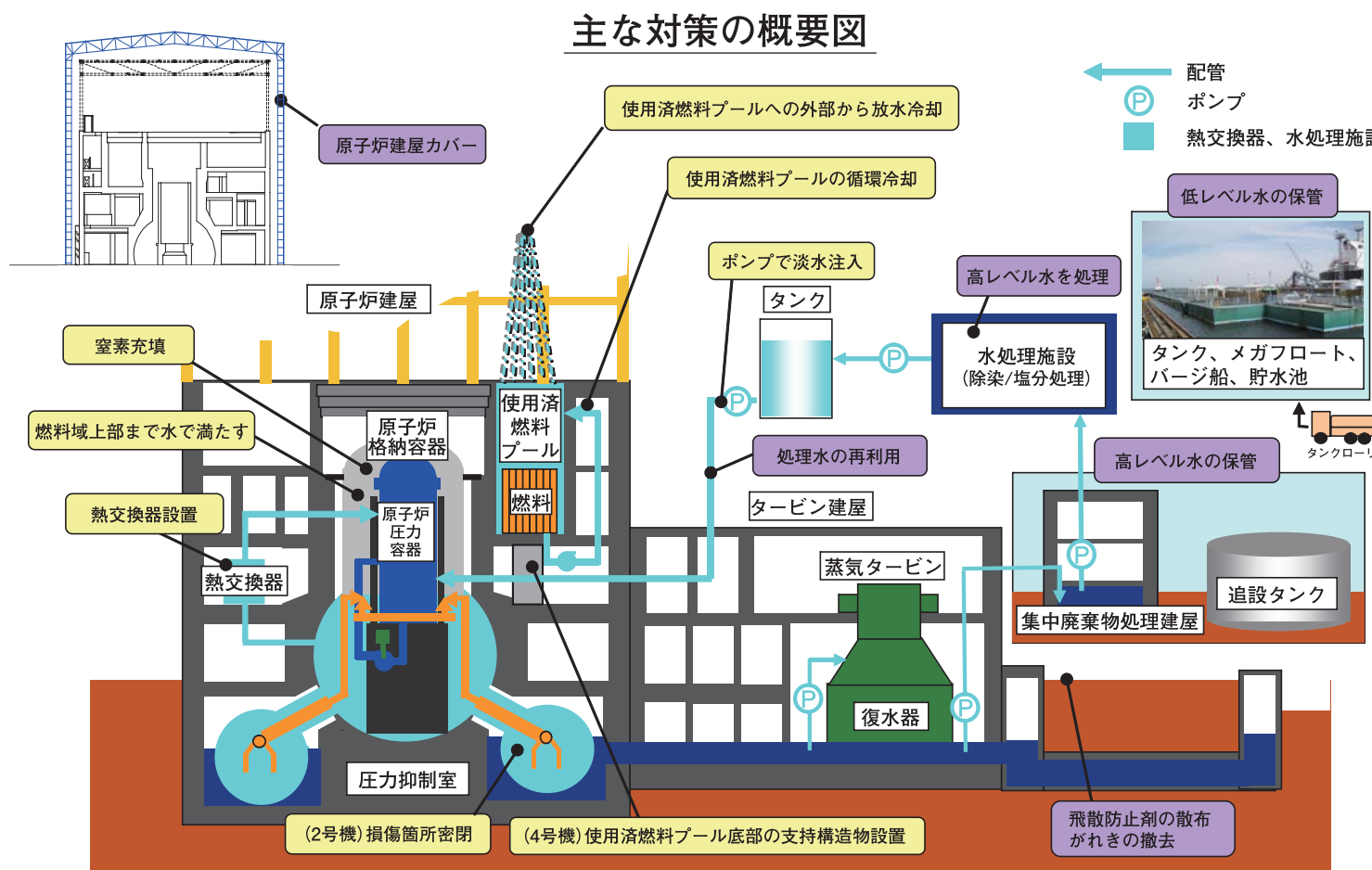
## 目標

- ステップ1：放射線量が着実に減少傾向となっている（3ヶ月程度）
- ステップ2：放射性物質の放出が管理され、放射線量が大幅に抑えられている（ステップ1終了後の3～6ヶ月程度）

## 当面の取り組み

下記3つの分野の5つの目標に対して諸対策を同時並行で進めていきます。

分野	目標
冷却	原子炉を冷却し、冷温停止状態（100度以下）にする。
	使用済燃料プールの冷却のため、プールの水位が維持され、より安定的に冷却する。
放射性物質の抑制	放射性物質で汚染された水（溜まり水）を敷地外に流出しないように閉じ込め、保管、処理、再利用し、量を減らしていく。
	大気・土壌での放射性物質を抑制するため、がれきを除去し、放射性物質の飛散対策を講じる。
モニタリング	避難指示/計画的避難/緊急時避難準備区域の放射線量を測定・公表し、放射線量を低減する。



引き続き、事態の収束に向けて全力を挙げて取り組んでまいります。